

○ 経営目標設定の考え方

大阪外環状鉄道株式会社

ミッション

対応方針

戦略目標【参考：事業計画】

①大阪東部地区の放射状路線を相互に連絡し、ネットワークを形成するとともに、新大阪へのアクセス等都心周辺部における環状方向の流動に対応すること、②都心部の混雑緩和、都心ターミナルへの集中緩和等に対応することを目的に、既存の城東貨物線を活用して、おおさか東線を整備する。

1 事業期間内の全線開業

平成20年3月に南区間(放出～久宝寺)を開業し、残る北区間(新大阪～放出)について、事業期間末である平成30年度末の完成に向けて、計画的な事業執行に努める。

2 効率的な事業執行

建設事業費については、国庫補助金に左右されるものの、建設コストの抑制に努め、計画的な資金調達と工事進捗に努める。

① 国庫補助金など必要な資金の確保

② 事業の円滑な進捗

・事業進捗率

【14.4%(H24実績見込)→100%(H30)】

③ 事業用地の着実な確保

・未契約の残件数

〔買収残12件、借地残7件(H24)

→買収残3件(H25に9件買収)

借地残3件(H25に4件借地)〕

④ 事務処理の効率化と適正な人員配置

・一般管理費

【275,000千円(24年度実績見込)

→304,000千円/年以下(H30)】

事業計画に基づく基本方針(目標設定の考え方)

事業計画の概要

<p>中期ビジョン (法人が目指す中期の到達点)</p>	<p>大阪中心部から放射状に広がる鉄道網を有機的に結ぶ鉄道を整備し、新大阪から久宝寺に至る新たなネットワークの形成</p>	<p>事業計画名称 (計画期間) 公表先URL</p>	<p>大阪外環状鉄道(おおさか東線)事業計画 【平成24年度～平成30年度】 http://www.osr.co.jp/index.html</p>
----------------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

戦略	成果測定指標	単位	最終年度の到達目標	目標達成のための活動事項
国庫補助金など必要な資金の確保	-	-	-	
事業の円滑な進捗	事業進捗率	%	100	・平成30年度末全種開業を目指し、年度毎の事業費ベースでの進捗率目標を設定し、計画的な進捗管理に努める。
事業用地の着実な確保	未契約の残件数(買収、借地)	件	買収:26年度までに0 借地:28年度までに0	・工事進捗に必要な時期までに確保できるよう、最終的には、土地収用法の適用も見据える。
事務処理の効率化	一般管理費	千円	7,500,000	・事務処理の効率化等により一般管理費の抑制に努める。

(参考)H25経営目標

I. CS(利用者満足度)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略	成果測定指標	単位	H25目標値	事業計画H25目標値	H25目標値設定の考え方(数値の根拠)
①事業の円滑な進捗	事業進捗率 (H25年度末時点北区间事業執行額/北区间事業総額)	%	28.5	-	北区间に係る用地・工事費に対するH25年度の用地・工事予定額による進捗率 183.1億円(平成25年度末時点北区间事業執行額)/643.2億円(北区间事業総額)
②事業用地の着実な確保	未契約の残件数 (全体件数 買収48件、借地49件)	件	買収 3 借地 3	-	工事進捗に支障がないよう、必要な時期までに取得を行う。状況に応じ、適切な時期に土地収用法の申請も行い、進捗管理を行う。

II. 財務(健全性・採算性)・効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

戦略	成果測定指標	単位	H25目標値	事業計画H25目標値	H25目標値設定の考え方(数値の根拠)
③事務処理の効率化と適正な人員配置	一般管理費	千円	304,000	-	H25年度は、北区间のさらなる事業進捗による一般管理費の増勢が見込まれるが、事務処理の改善等により、光熱水費・事務用品等の運営経費を節減するなど一般管理費増量の抑制に努めることとし、昨年度同様平成21年度目標値を上限として目標とする。 (H20年度に実施した事務所の移転等により、平成21年度以降大幅な一般管理費削減を行った。)

法人名

大阪外環状鉄道株式会社

24年度の経営目標達成状況及び25年度目標設定表

法人経営者の考え方 (平成25年度の課題と重点目標)	当社は、沿線住民の利便性向上、都心ターミナルの混雑緩和及び沿線地域のまちづくりへの貢献等に向け、平成20年3月に南区間（放出～久宝寺）を開業し、残る北区間（新大阪～放出）について平成30年度末の完成を目指して取り組んでいるところである。 当社の事業は、事業費について、資金フレームが国の補助制度を基に定められており、年度毎の事業費が国庫補助金に左右される事情があるものの、建設コストの抑制に努めるとともに、北区間の1日も早い全線開業に向けて、計画的な資金調達と工事進捗を図ることが重要である。 このため、平成25年度については、平成30年度末の開業に向け、関係自治体の協力を得て、国庫補助金等の必要な予算確保を行っていくとともに、工事の進捗に当たっては、土地収用法の適用を視野に入れた残用地の取得に努めるとともに、鉄道運行の安全には最大限配慮しながら進めていく。
---------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

I. CS(利用者満足度)、事業効果(設立目的と事業内容の適合性)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	ターゲット (H24)	H23実績	H24目標	ユニット (H25)	H25目標	戦略目標達成のための活動事項
						実績(税込)			
①事業の円滑な進捗	事業進捗率 (各年度末時点北区間事業執行額/北区間事業総額)		%	60	8.7	19.0 ×14.4	40	28.5	・北区間の早期完成に向け、工事進捗に努める
②事業用地の着実な確保	未契約の残件数 (全体件数:買収48件、借地49件)	☆	件	—	買収39 借地44	— 買収12 借地7	20	買収 3 借地 3	・工事進捗に支障がないよう、必要な時期までに取得を行う。 ・状況に応じ、適切な時期に土地収用法の申請も行き、進捗管理を行う。

II. 財務(健全性・採算性)・効率性(コスト抑制と経営資源の有効活用、自立性の向上)

③事務処理の効率化と適正な人員配置	一般管理費		千円	40	282,254	304,000 275,000	40	↓304,000	・事業進捗に応じた適正な人員配置について常に見直しを行う ・事務処理の改善等による事務費の節減に努める
-------------------	-------	--	----	----	---------	--------------------	----	----------	--------------------------------------------------------

【凡例】

- ・☆はH25からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・()はH25から目標とするため、参考として記入した実績値

【目標値未達成の要因について】

法人名	大阪外環状鉄道株式会社
24年度の 成果測定指標	事業進捗率 (各年度末時点北区间事業執行額/北区间事業総額)
24年度の目標値	19.0%
24年度目標の達成状況 (見込)	14.4%
未達成の要因	<p>弊社の事業は、事業費について、資金フレームが国の補助制度を基に定められており、毎年度の事業費は国庫補助金の額により決定されることから、国の補助金確保が事業推進上、重要な要素となっている。</p> <p>平成24年度については、春の予算要望の時点で国に対して要望していた国庫補助金の額を基に目標設定したものであるが、その後、国から交付された金額は、要望額の7割程度であったため、事業進捗率にかい離が生じたものである。</p>
今後の改善方策	<p>平成30年度末の開業に向け、関係自治体の協力を得て、国庫補助金等の必要な予算確保を行っていく。</p> <p>工事の進捗に当たっては、土地収用法の適用を視野に入れた残用地の取得に努めるとともに、鉄道運行の安全には最大限配慮しながら進めていく。</p>

【H24年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について】

法人名	大阪外環状鉄道株式会社
成果測定指標	一般管理費
24年度実績値（見込）	275,000 千円
25年度目標	304,000 千円
目標達成のための活動事項	事業進捗に応じた適正な人員配置について常に見直しを行うとともに、事務処理の改善等による事務費の節減に努める。
法人の活動事項を全く行わない場合、想定される数値（水準）	322,000 千円
考え方 （中長期のトレンド等）	<p>H25年度は、北区間のさらなる事業進捗やJR長瀬～新加美駅間新駅の事業化に伴い、一般管理費の増嵩が見込まれる。（用地買収業務の進捗による外部委託から直営業務への切替、事務量増加に伴う人員増）</p> <p>事務処理の改善等により、光熱水費・事務用品等の運営経費を節減するなど一般管理費増嵩の抑制に努めることとし、昨年度同様に平成21年度目標値を上限として目標とする。</p> <p>（H20年度に実施した事務所の移転等により、平成21年度以降大幅な一般管理費削減を行った。）</p>